



北鎌倉台峯トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

# 北鎌倉だより

会報



<台峯緑地の南半分は道標などが整備され、開園済み。残り半分も来年開園予定>

2020年9月 NO.42

## 開園進む台峯

### 目次

■ 台峯の開園と当基金の今後について	2	■ 鳥の名前よもやま噺 ⑦ ウソ	8
■ 台峯の現在	3	■ 台峯の周辺 ⑩ 浄智寺	10
■ 「緑の洞門」		■ 活動記録・会計報告	11
市長あて質問・要望書と回答	6	■ カレンダー、会員の集いなど	12

.....  
台峯の開園と当基金の今後について  
.....

皆様のお力により台峯の保全が次第に現実のものとなる中で、当基金の将来について理事会の考えを以下ご説明申し上げます。

今後正会員による総会において、改革の方向が定まることとなります。

### ●来年の全面開園

台峯緑地は市がこれを保全すべく、南半分を都市公園として今年4月に部分開園済であり、更に北半分も同様に整備の上、来年4月には全面開園の予定です。(コロナ禍等により多少延期となる恐れがあります)

### ●当基金の目的・事業

当基金は2001年NPO法による特定非営利活動法人として、台峯緑地を保全し、歴史的建造物と緑が調和した街並みを次代に引き継ぐ事業を行い、人間と生物が共生可能な環境づくりによって、市民生活の向上に寄与することを目的に設立されました。

また具体的な事業としては、②観察会などの自然保護の普及・研修、③会報などの広報・出版、④他団体との交流・協力、などより前の筆頭に、①台峯およびその周辺緑地の取得・借用しての保全・管理が掲げられています。(上記の目的と事業は「定款」より抜粋)

当基金の目的にも沿った形で、筆頭事業を今後市が担ってくれることとなります。

### ●基金・法人格の意義と負担

当基金はその名称の通りに、単なる自然保護団体ではなく、「基金」の面があります。

これは、筆頭事業が保全・管理のみなら

ず土地取得等がまず前にあり、ナショナル・トラスト運動を目指したものだっただけでしょう。

市に寄付済の1,354万円や現在保有中の72万円の土地取得用資金は法人格ある当基金名義の銀行口座に一旦基金として受入れ、また会計は監査を受け(林監事は公認会計士)、その結果は登記されます。法人格がない、個人口座の利用が多い等の任意団体と異なり、安心してご寄付頂くことができました。

けれども、法に従っての、総会や理事会の開催・議決、会計、監査、登記などにはかなりの負担感があります。特に発足後約20年が経ち、理事の高齢化が進む中で、今後十分に対応できるか危惧される次第です。

### ●今後の方向

市により土地取得が行われ、筆頭事業の基金集めが不要となれば、大きな負担を感じてまで法人格を維持する必要は最早ないように思われます。

むしろ今後は、より簡素な形の任意団体として、市による保全・管理状況をウオッチしつつ、自然保護等の、基金集め以外の従来事業を引継ぎ、専念したいと考えております。

手続き的には、法人は一旦解散、残存資産は市に帰属、別途任意団体を設立します。その節は皆様には是非新団体へのご加入と引続きのご支援をお願いしたいと存じます。

なお、繰り返しになりますが、以上はあくまで理事会の考えであって、当会の方向は今後総会で決定されます。決定がなされ次第、改めて皆様にご報告申し上げます。

本件につきご意見がありましたらお寄せ下さい。

理事長 出口 克浩

<改革の骨子>

現在	特定非営利活動法人	法人格有	基金集めが最重要。名称にも「基金」	負担大	信用力大
改革案	任意団体	法人格無	自然保護活動等が中心。名称変更要	負担小	信用不問

.....

## 台 峯 の 現 在

.....

池や散策路の整備など谷戸底の工事が終了しました。管理棟（山ノ内配水池側）がオープンし、部分開園が始まっています。

3月以来、コロナ禍の自粛で、鎌倉市公園課の指導に沿い、「歩く会」や保全作業はできませんでしたが、8月から再開しています。

### ●工事後の自然の回復

- ・工事で拡幅した道路が目立たなくなってきた谷戸の池の整備工事のため散策路（昔の農道）が拡幅されましたが、工事後2年ほど経過して、元のような景観にもどってきました。周りの草が適度に茂って目立たなくなってきました（写真①）。



①自然がもどってきた散策路

### ・ホタルは健在

谷戸の池の整備工事による堤防の建設、重機の出入りで、周辺の湿地への負荷が心配されましたが、今のところ大きな環境変化は感じられません。湿地に棲むヘイケボタルは今年も多数が観察されたそうです。

### ●“谷戸の池”の現状と改善に向けて

谷戸の池が落ち着くまでには、まだまだ時間がかかりそうです。堤防の水漏れ、外来生物の侵入（ペットの遺棄?）、堤防の植生管理など、ボランティアが目を光らせるべきことが残されています。

#### ・堤防の水漏れ対策

市公園課によると、前号でお知らせした堤防の水漏れは、自然に改善する見込みがないことから、新たな対策を講ずることになりました。堤防の水漏れが発生していると推定される、堤防の落ち口に設置された蛇籠（ふとんかご）の部分（写真②）にプレート（プラスチック製）を差し込んで、水漏れを遮断するとのことです。



②修復予定の谷戸の池の水漏れ箇所

### ・早くも外来種が...

先日、外来種のみししっぴアカミミガメが池で泳いでいるのを見ました。工事前には確認されていなかったのも、誰かが持ち込んだのかもしれませんが。以前は、在来種のイシガメ（神奈川県絶滅危惧種）が記録されていたので、悪い影響があるのではと心配です。工事の際、外来種のブラックバスを駆除したのですが、今後は定期的な水

抜きと外来種の捕獲などの管理が必要です。はたして可能でしょうか。池の管理は非常に難しい課題に違いありません。

#### ・堤防の植生管理

コロナ禍で、半年近く保全作業が出来なかったため、堤防に草が茂っています(写真③)。工事後の堤防の表面は、元の堤防の土をかぶせていますから、工事以前のようにササが密生した状態になるだろうと予測していましたが、残念ながら、外来種のセイタカアワダチソウ、オオアレチノギク、樹木の苗木など、駆除しなければならぬ植物がたくさん生えてしまいました。まだ数年はこれらの駆除が必要です。



③ 谷戸の池の堤防 外来種が生えてきた

### ●“コロナ禍”と“ナラ枯れ”

#### ・手入れ自粛の影響

散策路沿いは、今までも手入れを重ねていたのですが、それほど大きな影響はありませんが、春以来、散策路沿いのササの新芽が大きく伸びてきたので、9月に再開した作業で短く刈り込みました、“谷戸の池”周辺に出来た新しい広場に、外来種のセイタカアワダチソウが侵入してきたので抜きました。

一方、畑跡地は荒廃が目立ちます。サ

サの芽が伸び、その上をカナムグラ、クズなどツルが覆っています。畑を放棄した後の典型的な荒れ方で、セイタカアワダチソウも侵入している状態です。

#### ・コナラの木が枯れている

この夏、山の木が点々と茶色くなって枯れています。全国的に問題になっている“ナラ枯れ”という現象で、大きなコナラの木が次々に被害にあっています。

枯れた木から病原菌を媒介する甲虫(カシノナガキクイムシ)が飛び出し、健康な木に侵入して、翌年には木が枯れるようです。台峯でも被害が大きく、数10本のコナラの木が枯れていますが、残された健康なコナラの木にも、虫が侵入した穴が多数開いており(写真④)、来年は枯れる木が激増することは間違いありません。台峯のコナラの木は半分以上が枯れてしまうのではないのでしょうか。



④ キクイムシが侵入したコナラ 来年枯れる?

コナラは雑木林を代表する樹木です。70年ほど前まで、薪や炭にするため切られてきました。コナラが大木(老木)になるまで放置されていたことはあまりなかったと思われます。老木になって弱ったコナラに虫が進んで、病気が伝染していくのでしょう。“ナラ枯れ”はある意味、雑木林の若返りつ

ながるのかもしれませんが。枯れたコナラの根元には、ドングリから発芽した芽が育っているはずですが、これらを育む手入れを考えていければと思います。

## ●部分開園が始まりました

### ・範囲

“老人の畑”がある尾根と谷戸の池から奥(南側)が開園されていますが、湿地や広いオギ原のある山崎小学校側はまだ開放されていません。道標が設置されたので迷うことはないでしょう(写真⑤)。まだ来園者は少なめです。



⑤道標が整備されてきた

### ・管理棟がオープン

昨年完成した、山ノ内配水池側の管理棟がオープンし、水道やトイレは一般使用できるようになりました。鎌倉市公園協会の職員が常駐し、緑地をパトロールしています。また、散策路沿いの一部を刈り込んで歩きやすくしています。

## ●今年度の工事と全面開園が遅れる見込み

### ・山崎小学校裏の整備

前回、お伝えしましたように、山崎小学校裏に道具置き場やトイレを兼ねた建物が建設されます。

## ・全面開園は遅れる見込み

当初、来年4月に全面開園が予定されていましたが、夏以降に遅れる見込みとのことです。

## 台峯の将来と基金の今後

全面開園後も台峯の自然を豊かにするために、歩く会や山の手入れを続ける予定です。

名称は違いますが、台峯は隣接する谷戸(中央公園)と一体の緑地です。田畑がある中央公園に対し、静けさを感じる台峯、それぞれの良さを活かせればと思います。

静かな自然と言っても、放任すれば植物の種類数が少なくなり、台峯らしい貴重な自然が失われてしまいます。緑の保全と緑の放置は違います、様々な生物と出会える自然、人が関わることで年ごとに豊かになっていく自然、それが台峯の保全活動です。

## ●台峯の保全作業の現状

現在、尾根部で散策路や山の手入れをしているグループ、オギ原の手入れをしているグループ、竹林や尾根の一部を手入れしているグループがあり、当基金は、谷戸底の散策路や畑跡地を手入れしています。

### ・基金は谷戸の散策路を中心に？

湿地(水田跡地)や池など、台峯の特徴的な自然が谷戸底に多くあります。これらを良い状態で保全するには、動植物への配慮が必要です。台峯の自然をある程度知っていて、愛着がある人たちが作業することが望ましいのです。今まで「歩く会」や「山の手入れ」を定期的実施していたのはそのためです。

### ・管理者の作業とのすみわけ

市の指定管理業者の作業は、散策路を安全、快適に歩けることを目的にした作業です。足元の植物を刈って、道幅を確保することが主になります。

それに対して市民ボランティアの作業は、多種類の植物が見られる散策路を目的としています。斜面下部を刈り込んで、ササや一部のツル草を抑制することが植物の種類を増やすことにつながります(写真⑥)。また、管理者が目を向けない、湿地や水路沿いの手入れを意識することが、市民ボランティアならではの役割です。

#### ・市民ボランティアならではの活動を

ある意味で、湿地や水路、斜面の保全作業は不要不急の作業とも言えます。なぜなら、一般の人たちの利用(歩行)に影響が少ないからです。

市民ボランティアの活動は、動植物を愛でながら手作業でのんびり進められる良さがあります。また楽しくゆっくり作業することが丁寧な自然保護につながるでしょう。

次号では場所別の作業やモニタリングなどについて書かせていただきたいと思います。

久保 廣晃



⑥散策路の確保と斜面の草刈は違う作業です！

.....

## 緑の洞門 市長あて質問・要望書と回答

.....

「北鎌倉の洞門を守る会」が、7月16日付けで市長あてに質問・要望書を出状したところ、回答がありました。同会のお許しを得て、以下ご紹介致します。

### <質問・要望書>

鎌倉市長 松尾 崇 様

2015年4月に緑の洞門(北鎌倉隧道)が通行禁止にされてから5年3か月も経ちました。私たちは一刻も早い通行再開を願う地元住民大多数の思いと共に、以下の質問と要望を提出しますので前向きにご検討ください。

#### 1. 4年前の英断と経緯・現状について

2016年、松尾市長はそれまでの洞門開削を翻し、洞門を含む尾根筋の保存と17年中の洞門通行再開の英断を下しました。しかしながら、この公約がなされてからすでに4年が経過し、洞門が封鎖されてから5年3か月の長きに至っています。松尾市長は、このような経緯・現状についてどのような思いでおられるのか、その胸の内を率直にお聞かせください。

#### 2. 円覚寺塔頭の雲頂庵の説得について

とくに松尾市長は一連の発言の中で、上述の公約がなかなか実施できず頓挫している理由として、円覚寺塔頭の雲頂庵の了解が得られない旨を繰り返し明言してきました。それは北鎌倉住民が参集して山ノ内公会堂で開催された説明会の場でも発言されたことであり、雲頂庵が洞門通行再開を妨げていることは多くの地元民に周知の

ことです。雲頂庵を説得できない限り、洞門を一刻も早く人が通れるようにとの願いはいつまでたっても日の目を見ません。この点どのような努力がなされ、いかなる目途がたっているのでしょうか、お聞かせください。

### 3. 封鎖された内部の整備について

私たちは毎週末に、洞門の円覚寺側において草木などの清掃・整備を行っていますが、封鎖された内部は竹が伸び放題で、整備されずに乱雑に放置されています。去る6月には封鎖フェンスの内側から竹がJRのフェンスまで倒れ掛かるまでになっていました。早急な整備を願います。

さらには、封鎖フェンスを覆っている白いシートは、洞門内への風通しを妨げ、悪影響を与えています。その覆いは洞門封鎖時にはなく、およそ一年後の2016年4月に工事着工を理由に設置されたものであって、なんら必要性のないものです。すみやかにこの白いシートを撤去するようお願いします。

### 4. 市長との面会・話し合いについて

以上の点、ならびに去る6月市議会・建設常任委員会での洞門をめぐるやり取りなども含めて、松尾市長と話し合える場を早期に設定ください。2014年以来私たちは松尾市長と何度も面会できましたが、2016年4月以降は今日まで実現ができていません。ぜひ、誠実な対応をお願いします。

以上、2週間以内に返答下さるようお願いします。

北鎌倉緑の洞門を守る会(北鎌倉史跡研究会) 代表 出口 茂

### <市長からの回答>

鎌道路 438 号

令和2年(2020年)8月24日

北鎌倉緑の洞門を守る会

(北鎌倉史跡研究会)

代表 出口 茂 様

鎌倉市長 松尾 崇

(神奈川県鎌倉市長印)

令和2年(2020年)7月16日付けで提出されました「質問と要望書」について、次のとおり回答いたします。

#### 1 4年前の英断と経緯・現状について

北鎌倉隧道(以下「隧道」という。)については、平成27年(2015年)4月に通行を禁止してから5年が経過し、周辺にお住まいの方をはじめ、御利用されていた方々に御不便をお掛けし、大変申し訳なく思っております。

一日も早く安全対策を行い、通行を再開できるよう取り組んでまいります。

#### 2 円覚寺塔頭の雲頂庵の説得について

隧道の安全対策を行う上で、関係地権者の方々の御理解とご協力は不可欠なものと考えております。そのため、平成30年度に関係地権者等による意見交換を行う場として「関係地権者等意見交換会」を設置し、意見交換を行ってきました。

今年度も開催に向け関係地権者と個別に調整しておりますが、これまでの意見交換会で課題となっていた車両の通行についての整理がなされていないことから、意見交換会に先立ち現在調整を行っております。

今後調整がつき次第、意見交換会を開催し、御理解と御協力を得られるよう取り組んでまいります。

### 3 封鎖された内部の整備について

隧道上部の樹木等については、平成 29 年度北鎌倉隧道安全対策検討業務(以下「29 年度業務」という。)での危険木の伐採計画に基づき平成 30 年(2018 年)3 月に伐採を行っており、令和 2 年度にも伐採を行ってまいります。

また、隧道の周囲を覆っているシートについては、ごみ等を投げ込まれないようにするために網目部分をシートで覆っていますが、風通しを妨げ悪影響を与えているという御懸念については、過去にも同様の指摘があり専門家に確認をしたところ、影響はないとの回答を得ていることから、引き続きシートは設置しておく考えです。

### 4 市長との面会・話し合いについて

面談については、口頭でのやり取りではなく質問状を受領し書面にて回答をお返ししたいと考えておりますので、改めて面会の際に御質問の内容を書面にて提出していただきますようよろしくお願いいたします。

以上

事務担当 道路課

0467-23-3000  
(内線:2410)

鳥の名前よもやま噺

### 第七話 ウソ



< ウソ (オス) > Wikipedia より *Pyrrhula, masculum* by Dion Art is licensed under CC BY SA 4.0

鎌倉で桜が芽吹くころ、ウソの群れが姿を見せます。前回で取り上げたキビタキは少し熟練しないと見られませんが、ウソは群れで来るので、容易に見られ、仕草や姿が可愛いので、とても人気のある鳥です。源氏山公園や台峯の、どこそこにウソが来ると情報を得て、すぐ見に行けば、初心者でも、容易に見つけられます。

ウソはトビと同じく 2 字の名前です。学名は別として、鳥の俗名を見ると、短い名前の鳥は容易に見られ、長い名前の鳥は滅多に見られない鳥と考えてよいようです。日本の鳥で一番短い名前は「ウ」でしょう。トビ、メジロ、ウグイスなど、二字、三字、四字の鳥なら、全て容易に見られる鳥です。それでは一番長い名前を日本の図鑑で調べたら、標準和名でカワリシロハラミズナギドリと云う十三字の名前があります。太平洋上の鳥だそうで、普通の人は見ることがありません。

ウソの学名は *Pyrrhula pyrrhula*



(Linnaeus,1758)です。属名と種小名が同じになった反復名称です。その元となった命名史については触れませんが、Pyrrhulaとはウソ属で、語源は古代ギリシャ語、炎色の意味、人類最初のアリストテレスの博物誌からの出典です。次の Linnaeus は良く知られたリンネの事です。彼が貴族の称号を貰う以前の名前です。次の 1758 は彼の「自然の体系の第10版」が出た年です。これでウソは最初から名前が載っていたチャーターメンバーの鳥だとわかります。

ウソの英名は Bullfinch と云います。bull は牡牛 finch はヒワの仲間の意です。One word の名前ですから、イギリスでも容易に見られる鳥だと類推できます。日本の図鑑によっては英名を Japanese Bullfinch としてありますから、日本のウソはヨーロッパのウソの亜種であると思われる。bull のつく鳥名として Bull-headed Shrike モズがあります。日本とイギリスは共に旧北区に属し、共通した鳥が多いのです。同じ英語圏でも新北区に属する北アメリカの鳥となると、がらりと様子が違います。

和名のウソは、嘘と連想したくなりますが「ウソは別名、弾琴鳥ともいわれ、空で琴を弾くような声で啼くので→そらごと→虚言→嘘→ウソと云うのである」と云う説があります。

話が変わりますが Bullfinch と云う名前の著者がいます。前回のナルキッソスの話は Bullfinch の著で、the Age of Fable (1855) ギリシャ ローマ神話からの引用です。訳者は野上弥生子で岩波の文庫本で出版されています。次回にコチョウゲンボウの英名 Merlin の話をする予定ですが、この話も

同じく Bullfinch の the Age of Chivalry (1858)中世騎士物語からの引用です。著者の名前が Bullfinch だからと云ってウソではありません。この洒落、通じましたか？

今回は平凡社の百科事典から、天満宮とウソにかかわる日本の噺を要約しておきます。

その昔、大宰府天満宮造営の時、沢山の害虫が発生して、木材を食い荒らしました。その時多くのウソが現れて、虫を食べてくれたとの伝説があります。

このような故事から、一月七日や二十五日の初天神の日に、各地の天満宮で「ウソ替え」の行事が行われます。これは柳の木で、頭と尾を黒く塗り、口のあたりを赤く、背を緑色にして、金箔を付けたウソを作り、参詣の群衆が手に持って「かえましょ、かえましょ」と叫んで、他人のウソと取替えまします。このウソはもともと防火のマジナイとされ、神棚に上げられました。ウソを取替えている時、神社から、金のウソを紛れ込ませ、これを得た人は幸運を得るとも言われています。現在この行事は、一年中に話したソラゴトをウソに託して、罪滅ぼしをするとともに、また一年中の不幸が全て嘘になり、吉事に取り換えられる為とも言われています。

久保 順三



.....  
台峯の周辺 ⑳ 浄智寺  
.....

台峯から程近い浄智寺の、静謐を湛える  
さんない  
山内は、他の「五山」同様文化人の影が濃い。

まず、映画監督小津安二郎の住まいが  
寺域にあったことは、よく知られている。

次に、立秋の頃鶴岡八幡宮の夜祭りには  
近在の著名人が「ぼんぼり」を描いて奉納する。  
二十年程前にお参りすると、平山郁夫でも  
石段途中に飾られるに過ぎず、一番上の  
本官前に明るく灯されていたのは小倉遊亀  
の画だった。七十近い藝大学長も百才の前  
では涙垂れ小僧だったのかもしれない。遊亀  
は小津より前からその隣りに居を構えていた。

ところで、詩人三好達治は昭和13年の或  
日稲村ヶ崎の家から散歩がてら長谷の  
古道具屋で瓢箪を購入、これは「ヴァレリ  
ーの研究者佐藤正彰君と各々一瓢を贖い  
蓄えておきて近日某地に散策せん」と約束  
したためという(「半日閑歩」)。二人の仲が分る。

その後小田原に転居していた達治は、  
戦後或る玩具職人を浄智寺に訪ねて来る。  
その家は寺からの散策路の頂上、「北鎌倉  
と鎌倉の分水嶺」にあったが、「メガホン  
でも口にあてて大声を発すれば」正彰宅ま  
で「たやすく達してセイバン先生の返事」が  
あろう距離だった、とのこと(「オルゴール」)。正  
彰もまた浄智寺裏に住んでいたという訳だ。

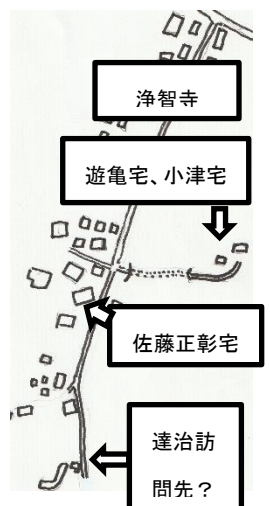
この「セイバン先生」という綽名は正彰の  
国文学者の父が正範、音読してセイバンだ  
ったから、とは東大仏文科で達治・正彰兩名  
を指導した辰野隆の解説である(「若い友だ  
ち」)。

余談ながら、小袋坂を越えた雪ノ下に腰  
を落ち着けた小林秀雄も辰野門下だが、辰  
野によると、在学中あれ程「優れた論文を書  
き得る秀才だから、定めし、卒業試験でも  
堂々と答弁するだろう」と大いに期待していた。  
しかしフランス語での口頭試問には「一つも  
答えられずに、彼は魚の如くに黙々」とした  
挙句、日本語で叫んだ、『及第さして下さい！』(「思い出」)。どうやら仏会話は苦手だっ  
たようだ。

ところで、当基金を率いて下さった なたい  
なたい先生は、浄智寺と向かい合う形の谷戸  
に越して来られた。仏文ではなく医学を専攻  
された先生だが、活動領域は文学や哲学  
等に及ぶ。そういえば、皆恐れ慄く存在の小  
林秀雄が「常識」に仏語でくサン コモンと  
誤ったルビを振っていることに、気づかれる  
話があった。(「小林秀雄なんて怖くない」語尾の’s’  
は発音しない仏語だが、例外的に“sens”はくサンスと  
発音されるものらしい)権威に怯まず、また留学  
で結ばれた奥様と 実地に仏語で話された  
先生の面目躍如といったところだろう。

それはさておき、映画を第7芸術とするとき  
絵画は第3、そして第5 芸術の詩を研究した  
佐藤正彰について全く知  
識がなかった者でも、外出  
が儘ならぬ中、手許の随筆  
集を少し紐解いただけで以  
上を知り得たのである。

他にも第1:建築、2:彫  
刻、4:音楽、6:演劇等の芸  
術家が、この寺の周りで、「美」  
を懸命に追い求めてきたの  
かもしれない。 本田 隆史



# 活動記録

(2020年4月～2020年9月)

1 市公園課と打ち合わせ 7/10

2 総会 5/24

①昨年度事業報告、②今年度事業計画、③理事・監事改選が承認されました。①のうち会計に関しては概略右の通り、③は以下の方々が全員再任です。

理事：望月眞樹、望月晶夫、小田原茂夫、  
本田隆史、久保廣晃、出口克浩、  
島田哲夫、小谷一夫、植木よう子、  
小幡正弘(会員番号順、以上10名)

監事：林雄一郎

3 理事会 5/24,7/5,8/2,9/6

5/24 理事会で出口克浩が理事長に選任されました。

4 台峯を歩く会(山歩き) 8/16,9/20

5 山の手入れ 8/15,9/19

6 モニタリング 8/1,9/6,9/19

7 マツムシを聴く会 9/21

●市から要請を受けるなど、コロナ禍により、5/24の上記2および3は書面等による変則的な開催となり、またその他の上記3～6は4月から6月までの間中止しました。更に雨天等のため、7月中の上記4～6も中止となりました。

# 会計報告

(2019年4月1日より2020年3月31日まで)

特定非営利活動法人 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要	
収 入	正会員会費収入	55,000	
	個人会員会費収入	144,500	
	団体会員会費収入	9,000	
	カレンダー収入	267,700	
	民間助成金収入	64,300	
	寄付金収入	0	
	受取利息	25	預金利息
	その他	858	保険料戻し他
収入計	541,383		
支 出	(緑地保全・管理事業)		
	整備作業費	33,798	道具購入、研磨
	賃借料	0	
	損害保険料	2,275	
	事務用品費	0	
	小 計	36,073	
	(普及・研修事業費)		
	通信運搬費	54,816	会報他
	印刷製本費	242,910	カレンダー、会報他
	編集費	70,000	カレンダーデザイン
	事務消耗品費	9,878	
	賃借料	21,000	山歩き会場他
	損害保険料	2,275	
会議費	0		
雑費	220		
小 計	401,099		
(広報・出版事業費)			
通信運搬費	34,336	HP回線使用料他	
広告宣伝費	50,000	鎌倉朝日	
小 計	84,336		
(交流・協力事業費)			
負担金	3,000		
渉外費	5,000		
小 計	8,000		
(管理費)			
通信運搬費	26,015	会費入金費用他	
事務消耗品費	7,078		
賃借料	22,000	総会・理事会会場	
会議費	2,110		
雑費	1,152		
印刷費	0		
小 計	58,355		
支出計	587,863		
經常収支差額	▲ 46,480		
当期収支差額	▲ 46,480		
保 有 資 産	現金	113,554	うち720,000は緑地 保全積立金として保 有(期末時点)
	当座預金	3,223,887	
	普通預金	194,887	
	定期預金	225,443	
	計	3,757,771	

監事の林雄一郎先生より適正との監査報告書を頂戴しております。

## 【台峯カレンダー】

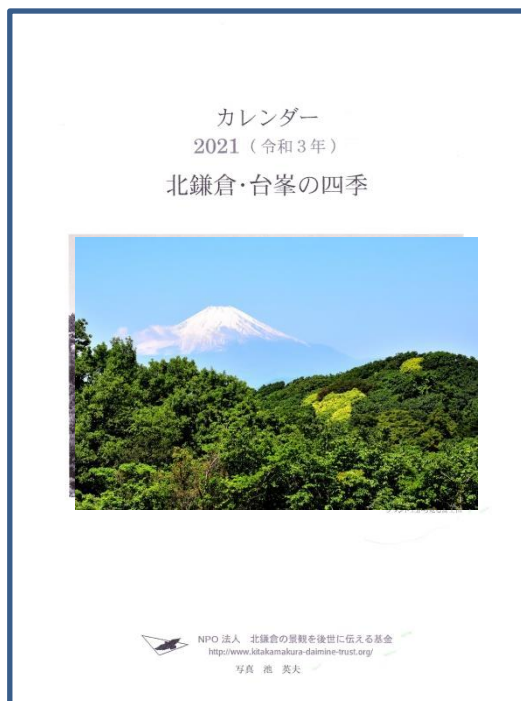
池 英夫さんの美しい写真によるカレンダー2021年用(右)を発行します。

台峯が全面開園予定のこの年の版をもって、当基金としては発行を終了する予定です。長い間ご愛用いただき有難うございました。

会員の皆様には、感謝の意を込めて、今回1部ずつ進呈致します。

更なる部数をご希望の方は、切手@1千2百円(税・送料込)×部数分を添えて事務局まで郵便でお申込みいただくことにより、ご入手できます。

よろしく願い申し上げます。



(A4版 毎月1頁、計14頁)

## 【会員の集いご案内】

年に一度会員の皆様に台峯や当基金の現状及び今後についてご説明を行います。また皆様からご意見を伺う場です。

今年は11月23日(祭)13:30～山ノ内公会堂にての予定です。別途ご案内しますので、是非お越し下さい。

皆さまのお越しをお待ちしております。

会報42号

発行日 2020年9月30日

発行者 特定非営利活動法人

北鎌倉の景観を後世に伝える基金

事務局 〒248-0011 鎌倉市扇が谷 3-2-12 本田方

HP [www.kitakamakura-daimine-trust.org](http://www.kitakamakura-daimine-trust.org)

写真 久保廣晃・本田隆史

## 【鎌倉市の蝶通信】

昨年「山歩き」や「集い」でお話し頂き、また本誌前号でもご紹介した浅野勝司さんの季刊誌「鎌倉市の蝶通信」は、今春の創刊号に引続き、夏号・秋号が発行されています。

まだ各号とも在庫があるようですので、ご希望の方は直接浅野さんに申し出て下さい。無料でお送り下さるそうです。



〒247-0072

鎌倉市岡本

1241-4

C-911

浅野勝司様

Phone: 0467-43-1134